



湘北短期大学の SDGs について ご紹介するニュースレターです

～発行者からのお知らせ～

23 年度から、Web サイト湘北 SDGs を開設し、授業や大学全体の取り組みを紹介しています。

ニュースレターでは、Web サイトに掲載した記事の中から、学科の授業や部門ごとの活動を、カテゴリー別にまとめて紹介していきます。

今後とも湘北短期大学は地域に根ざした教育機関として「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、社会課題の解決にむけて持続可能な未来の創り手を社会に送り出していきたいと思います。



GoGreenJapan 公式フライヤー

湘北 SDGs

Think Globally, Act Locally.

2024 年度 第 1 号

(通算第 16 号)

今回の発行人 築瀬千詠

yanase@shohoku.ac.jp

学校法人ソニー学園 湘北短期大学

生活プロデュース学科・リベラルアーツセンター

〒243-8501 厚木市温水 428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

【大学の取り組み】

使用済みカイロを「GoGreenCube」にリサイクル

2023 年 12 月、防災備蓄用品入れ替えの為、使い捨てカイロ 1,200 個を希望者に先着順で配布しました。また、この配布とあわせて、1 号館 1 階ロビーに、使用済カイロ回収ボックスを設置。2024 年 3 月までの期間で、学生・教職員から約 5 kg のカイロが集まりました。

回収したカイロは、一般社団法人 GoGreenJapan へ送り、GoGreenCube（水質浄化剤・土壌改良剤）へと生まれ変わります。本来捨てられてしまう使用済みカイロが資源として有効活用されるだけでなく、水質や土壌の質の改善につながるこの取り組みは、SDG s のさまざまな目標・ターゲットの達成に貢献します。

今回、回収ボックスを設置したことにより、こうした取り組みがあることを知ってもらい、学生一人ひとりが SDG s について考える機会・日常生活のなかで気軽に参加できる活動があると気づく機会を提供できました。

本学では、引き続き多様性を尊重し、持続可能な社会の実現をめざして SDG s の推進活動に取り組んでまいります。（総務部）

ご参考：一般社団法人 GoGreenJapan

<https://go-green-japan.jp/>

こちらからご覧いただけます [👉](#)



【大学の取り組み】 洗浄用の水を減らす ～コップは1人1個まで～

湘北短期大学のキャンパスレストランでは、SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」と目標 14「海の豊かさを守ろう」を目指し、食器洗浄用の水を減らす対策に取り組んでいます。

食器の洗浄は、自動洗浄機を使っていて、食器の量に応じて、水量が決まり、排水量も変動します。コップ 1 個の洗浄水の節約は、些細なことかもしれませんが、小さなことの積み重ねを促すことで、SDGs を推進しています。キャンパスレストランでのコップの使用は、1 人 1 個までとし、お代わりは同じコップで！（総務部）



本学自慢のキャンパスレストラン （湘北短期大学デジタルパンフレットより）

【授業紹介】「表現の指導（造形）」ペットボトルキャップを使って楽器製作♪（2024 年 5 月）

「表現の指導（造形）」（保育学科 2 年 必修科目）では、学生同士で保育者役と子ども役に分かれ、模擬保育を実施しています。その場で製作する教材は、もちろん学生が一から考えたものになります。

今回のチームは「楽器をつくりたい！」というテーマのもと、身近な素材で活用できる物がないかを探索し、ペットボトルキャップという魅力的なパーツを発見しました。紙皿をおりたたみ、重なる面にふたつのペットボトルキャップを接着すると、「カッ！カッ！」と意外と軽快で良い音が鳴るのです。形状や動作から、この楽器をカスタネットに見立て、これだけでは物足りないと、目や口を描いてカエルのカスタネットが完成しました。

参加者全員分のペットボトルキャップは、大学の協力のもと、本学のリサイクルコーナーからいただくことができました。模擬保育当日は、参加者全員でカスタネットを製作し、素敵な音色を奏でることができました。

（保育学科 小野 修平）

